

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 7 年3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第 64 号 令和 7 年度松戸市一般会計予算 議案第 65 号 令和 7 年度松戸市国民健康保険特別会計予算 議案第 66 号 令和 7 年度松戸市松戸競輪特別会計予算 議案第 69 号 令和7年度松戸介護保険特別会計予算 議案第 70 号 令和7年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算 議案第 71 号 令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第 72 号 令和7年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算 議案第 74 号 令和7年度松戸市病院事業会計予算</p>
議員名・会派名等	丹呉顕子 公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>以下の討論をもって、態度決定に至った理由といたします。</p> <p>会派を代表いたしまして、本定例会に上程されております「議案第 64 号 令和 7 年度松戸市一般会計予算」「議案第 65 号から第 72 号までの特別会計予算」及び「議案第 73 号から第 75 号までの企業会計予算」につきまして、賛成の立場から討論させていただきます。</p> <p>本予算の審査に当たっては、委員会の中で申し上げた通り、</p> <p>①「子供から高齢者まで一人一人の市民に寄り添った予算となっているのか」 <small>みすえ</small></p> <p>②「松戸市の未来を見据えた予算となっているのか」</p> <p>③「災害対策・安全対策の強化が図られているのか」 <small>しつぎ</small></p> <p>に重点をおいて審査し質疑させていただきました。</p> <p>はじめに、「令和 7 年度松戸市一般会計予算」について <small>そった</small></p> <p>①「子供から高齢者まで一人一人の市民に寄り添った予算となっているのか」です 私たち公明党は「子育て応援トータルプラン」提唱し、「子どもの幸せを最優先する社会」をつくり、子ども達が誰一人取り残されず、自分らしく強みを発揮し輝いていけるよう目指しています。</p> <p>これまで松戸市においても子育て支援策を進めており、</p>

一時預かり事業で対象年齢の引き下げ、産後のグリーンケアなど妊産婦への支援充実を行っていただいております

また「いじめ相談窓口」の運用やヤングケアラーへのきめ細やかな
たいおうさく しさく
対応策を進める施策も着実に進められております。

ようごしせつ はるかえん
新年度では、養護施設の春香園で、一次預かり施設を松戸市単
独で10名によりスタートされることとなります。

また、不妊治療と産後ケアにおいては対象者が拡大、多胎児支援の
たたいじ
拡充、ひとり親家庭への支援拡充、放課後児童健全育成業務で支援
員の学校内での連携強化、民間保育所の障がい児受け入れ時の負担
軽減策、など盛り込まれており、評価いたします。

ちほうそうせいりんじこうふきん
学校給食費の無償化が、「地方創生臨時交付金」を活用して1学
期の間、保育園から小中学校まですべての児童・生徒を対象に実施さ
れることとなりました。

私たち公明党は、人生100年時代と言われる中で、若者から高齢
者まで、全ての人に活躍できる場所があり、全ての人が元気に活躍し
続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会を築くことが重要
とら

であると捉えています。

えんしん
そのため、健康寿命の延伸や医療・介護等福祉の充実、心のケア
の強化などを通じて、健康・命を守る施策を推進しています。

またご高齢の方が地域で役割を担い、自分らしく輝いていく。

そして、人々が世代を超えてつながり、互いに支え合う「地域共生
こうちく

社会」の構築が必要と考え、自治体における相談・支援体制の

整備や、地域共生社会を支える人材育成の仕組み構築などを訴え
てまいりました。

かくじゅう
松戸市においてもこれまで、重層的支援体制の拡充が図られ、書
かない窓口システムの導入や、町会・自治会での電子回覧板の導入な
ど利便性の向上や従事される方の負担軽減策を実施してきていま
す。

新年度は、介護人材確保事業、外国人介護人材の確保策として、
日本語教室の開催、介護支援専門員の更新研修費用補助等の

すいしん かくじゅう
推進、ごみ収集事業、「ふれあい収集」の拡充、ジョブトレーニング

きょうぶほせいぐ
の対象者拡大、がん患者支援としてウィッグ・胸部補正具購入費用
しさく

助成拡大、命を守る施策では、带状疱疹ワクチンの定期接種化も進め

られてきました。

更に移動支援として松戸駅周辺で行った自動運転実証調査を常盤平地域において行い、高塚地域においてはコミュニティーしゃバスの運行も視野に入れていきます。

みすえ

②「松戸市の未来を見据えた予算となっているのか」について

「松戸駅周辺まちづくり基本構想」では、相模台地区を新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる「新拠点ゾーン」として位置付けているのはご承知の通りです。

新拠点ゾーン南側の国有地を市役所予定地として、昨年6月に購入、いち早く昨年9月の補正予算を組み、旧松戸法務総合庁舎かおく

周辺家屋等事前調査委託料が提案され、現在できうることの経費や今後の街づくりのための予算が計上されました。

新年度、新庁舎の整備業務として、周辺家屋の調査費用や旧松戸法務総合庁舎他解体費用が継続費として計上されており、着実に推進していただけるよう期待しております

また、新たに「ふれあい松戸川」を活用した「にぎわい創出」のしさく

調査費用が計上されました。既存の資源を活用した新たな施策を楽しむにしております。

私たち公明党は、これまで折に触れて、新たな投資を行って街づくりを進めることにより、市内の活気を取り戻し、税込アップにつながるべきと申し上げてまいりました

新年度は、市街地再開発業務として北小金北口周辺と常盤平駅周辺で新たな街づくりに向けての関係経費が計上されています。特に常盤平駅周辺は、これまで松戸市をけん引してきた大規模住宅のUR住宅で、老朽化が進んでおり、度々議会においても取り上げられてきました。しんちよく今後の検討・進捗を注視してまいります。

③「災害対策・安全対策の強化が図られているのか」について

近年、我が国は気候変動などの影響による豪雨災害など自然災害げきじんか ひんぱつかが激甚化・頻発化し、政府の地震調査委員会は、南海トラフ巨大地震が今後30年間に起きる確率が80%程度と本年1月に発表されました。また首都直下地震も心配されています。

かかげ

公明党は、「防災・減災を社会の主流に」と掲げ、国と地方の議員が連携し、防災・減災対策の着実な実行を進めています。

松戸市においても災害対策を進めてきていただいております。防災備蓄倉庫を着実に整備・拡大し、マンホールトイレの整備は、市内小中学校でほぼ完了したことから、市民センターなどへ更なる拡大もお願いします。

新年度、土砂災害ハザードマップの更新、災害対応のドローンの本格運用、スマホの映像を活用するライブ 119 の更なる活用が進められます。

これらの事業は、市民の命と財産を守る大切な事業であり、大いに評価いたします

以上、いくつかの点について申し上げてまいりましたが、私たち

公明党が掲げている施策や、国が進めようとしている施策を、
松戸市はいち早く取り入れ、着実に進めてきて頂いていること、
評価します。

それでは、個別事業についていくつか申し述べさせていただきます。

財務管理事業では、令和7年度の予算編成から、
「枠配分方式」を導入したところ、

マネジメント能力の強化及び有効性を重視した事業の選択が可能となり、効率的な予算の組み換えが促進され、総合的に高い効果が得られた、とのことでした。

厳しい財政状況の中で、新たな方法を取り入れ、それにより効果が発揮できたとの事、評価いたします

一方で、事業を執行する部署からは、予算総額が限られてしまったことから、新たな事業の実施に限界があるとの声も頂いています。
効果的な対応をお願いします。

公共施設照明 LED 化について、268 施設が対象と非常に多く、
財政的な負担を危惧するところです。

単年度での財政的負担が大きくなることの無いよう、計画的な
取り組みをお願いします。

自転車駐車場管理運営事業では、混雑する松戸・新松戸・八柱の
駐輪場が満車かどうかスマートホンから確認できるようになる
ことから、利用者の利便性が向上することを期待いたします。

市内公園防犯カメラ設置について、市内の 7 公園に 8 基設置され
るとの事です。公園内での悲しい事件が発生してしまい、私たちも

何度となく議会で取り上げ、公園内への防犯カメラ設置を訴えてま
いりました。今回の設置により防犯効果が高まることを期待します。
今後の設置拡大をお願いします。

スポーツ施設管理運営事業及び、小中学校の施設整備事業では、
市内スポーツ施設体育館と全小中学校体育館に災害対応型空調
設備の設置工事が行われます。

この空調設備は災害時に停電しても、ガスが供給されて入れば

空調設備の運転が可能となり、電源も確保できることから、避難所内での照明やスマートホンの使用も可能となります。よろしくお願いします。

最後に、小中学校での学校給食費について要望を申し上げます。松戸市では、これまで第2子半額、第3子以降無償との保護者負担軽減策が進められてきましたが、新年度は保育園や市内小中学校で1学期の給食費を無償としました。

我が会派もこれまで折に触れて何度となく取り上げてきましたが、現在、国では、令和8年度から小学校の給食費無償化を打ち出して
ぶっかこうとうきんきゅうおうえん
おり、また本市では令和7年度予算を物価高騰緊急応援予算と銘打っていることから、引き続き1学期のみではなく2学期3学期の無償化を実現すべきです。前向きなご検討をお願いいたします。

以上、代表的な個別事業について申し述べましたが、これ以外にも大事な事業、推進していただきたい事業が多く含まれている、この「議案第64号 令和7年度一般会計予算」について賛成させていただきます。

次に、「議案第69号 令和7年度介護保険特別会計」について介護予防普及啓発事業で、新たに補聴器購入の一部補助を含めた加齢性難聴者に対する一体的な支援対策が進められることにより、介護予防や社会参加の促進を図る事業です。高齢者に寄り添う支援ですので大変期待しております。よろしくお願いいたします

次に、「議案第74号 令和7年度松戸市病院事業会計予算」について申し上げます。

物価高騰により病院経営の環境は厳しさを増しています。このため政策医療の現状と、別棟建設見合わせによる今後の方向性について、お伺いました。

ご答弁から、令和7年4月より「小児救命救急センター」の指定を受けることを確認しました。

とりで
ともかく、総合医療センターは市民の命を守る最後の砦であります。厳しい状況ではありますが、更なる経営改善に努めて頂きますよう、よろしくお願いいたします。

このほかの各特別会計、各事業会計につきましても賛成といたします。

予算審査にあたりましては、執行部の皆様の丁寧なご説明をいただき、本当にありがとうございました。

3月19日に東京ドームで行われたメジャーリーグ開幕戦のドジャース対カブス戦で、大谷翔平選手が今季1号となるホームランを打ちました。試合開始前、大谷翔平選手はロッカールームを出る際、「さあ、行こう」と声を張り上げ、“必ず勝つ”との気迫を放つそうです。

日々の生活に重くのしかかる物価高騰、人口減少、孤独、孤立、社会の変化のスピードは増すばかりで、多くの人々が行先の見えな
い不安をかかえています。

私たちも「さあ！行こう」の掛け声で、市民のみなさまに寄り添い、
安心を広げていけるよう、頑張っていきたいと思います

以上で、公明党を代表しての討論を終わります。
ありがとうございました。